

テーマ：災害に強い森づくり

1. 現在の推進方針：重点施策(1)-1 災害に強い森林づくり … 裏面参照

2. 日田市の施策について(再掲)

【経営計画樹立森林】

造林補助の支援強化	森林整備総合対策事業
林内路網の強化	林道作業道原材料支給事業 外

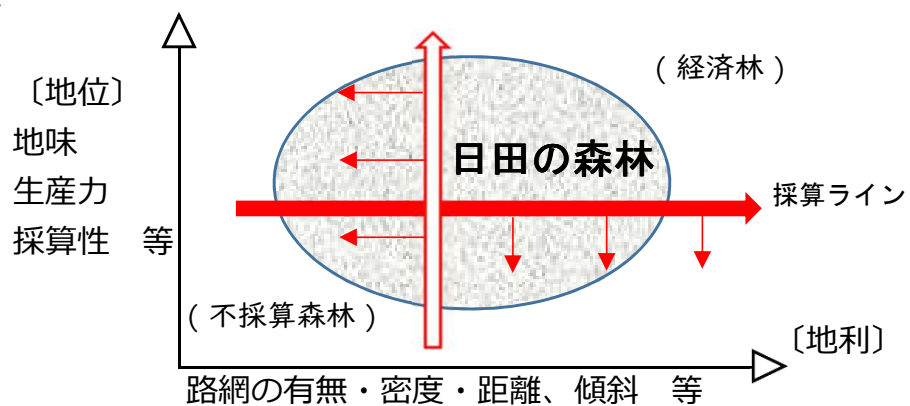
【未整備森林等】

森林環境譲与税の活用	森林機能強化対策事業(R2新規)
豪雨災害被害対策	流木被害緊急対策事業
	流木被害防止森林整備事業(R2新規)

【市有林】 市有林活用モデル事業 外

3. 課題

- ・広葉樹誘導への取り組み
- ・ゾーンの選定

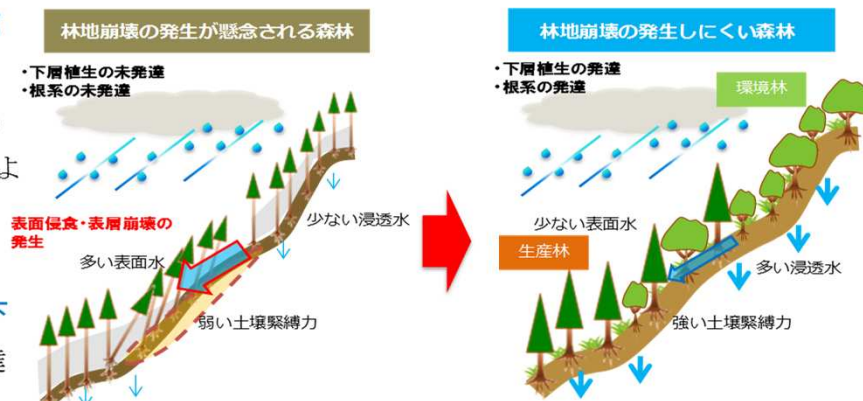


4. 今後の展開について

- ・意見交換

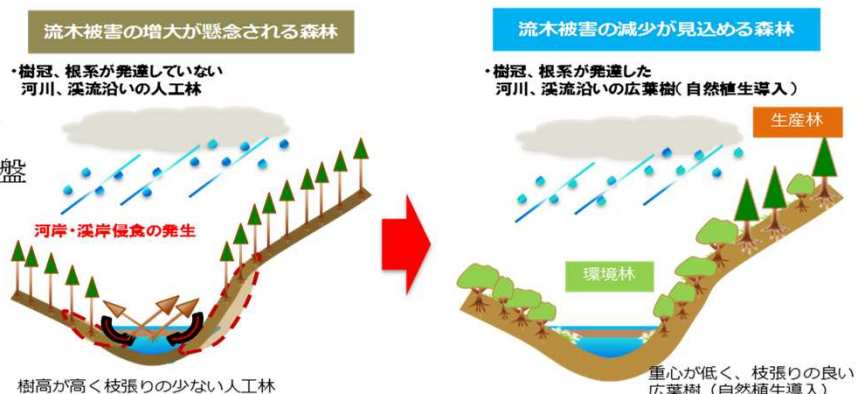
重点施策(1)-1 災害に強い森林づくり

【**林地崩壊の防止**】 林地崩壊の防止機能を高めるため、**間伐等**により**林内の光環境を改善**し、**林床（地表面）の植生を繁茂**させ、**樹木の根系（地中内の根の分布状態）を発達させる**必要がある。そのため、地形や土壌条件によっては、人工林は**複層林や針広混交林へ誘導**するとともに、適切な時期に間伐を行うことで、**下層植生の繁茂**や樹木の根系の発達を促す。



【**流木被害の軽減**】 豪雨時の流木被害の軽減を図るために、発生区域では、林地崩壊の防止を図るとともに、**流木化する可能性の高い樹木は、帯状伐採などで除去**する施策を推進する。さらに、流下・堆積区域では、豪雨時に流木被害が懸念される河川や**溪流沿いの森林を選定し、天然更新等による広葉樹林への誘導**施策を行う。

ただし、スギ人工林でも、十分な樹冠長があり、根系が発達し岩盤に定着した樹木は、**緩衝林としての機能が期待**できることから、今後も適正に管理する。



【**風倒木被害の軽減**】 台風時などの暴風災害の軽減を図るために、**強風の影響を受けやすく、スギ・ヒノキの生育に適さない尾根部（尾根・尾根筋）については、緩衝林として、潜在植生を考慮した上で、風害に抵抗性の高い**広葉樹林に誘導****する。また、木材生産適地の人工林においては、早めの**間伐**を行うなど、樹木の間隔を適切に保ち、樹冠長率を高めて、**単木での強風耐性を高める**。

